

## 平成 30 年度第 3 回いしかわ森林環境基金評価委員会の概要

1. 日 時：平成 31 年 2 月 6 日（水）10:00～11:15
2. 場 所：石川県庁 1408 会議室
3. 出席状況：委員 9 名
4. 議 題：(1) いしかわ森林環境基金事業の取組成果と今後の方向性（中間とりまとめ）」に関する意見募集（パブリックコメント）の結果について  
(2) 「いしかわ森林環境基金事業の取組成果と今後の方向性」について

### 5. 委員会議事要旨（委員の主な意見等）

- (1) いしかわ森林環境基金事業の取組成果と今後の方向性（中間とりまとめ）」に関する意見募集（パブリックコメント）の結果について

- ・多くの意見が集まっていることは、いしかわ森林環境基金事業について、県民からの支持を受けていることの現れだと思う。

- (2) 「いしかわ森林環境基金事業の取組成果と今後の方向性」について

- ・国の森林環境税と県の森林環境税が併存する形になるため、今後は、両者をあわせた形での成果等の検証を行う必要があると思う。

<事務局> 森林審議会や評価委員会において場を設けてすすめていきたい。

- ・森林経営管理法の概要及び森林環境譲与税（仮称）の用途に関して、森林経営管理法が、林業経営者や市町の役割を重視するものであることや、県として市町の人材育成や森林所有者、森林組合との連携に配慮するといった文言の追加をお願いしたい。

<事務局> 委員長と相談の上、追加させて頂きたい。

- ・放置竹林の除去及び緩衝帯整備について全体の見通しを示してもらいたい。また、経済波及効果の分析結果や、社会的にどのような効果があるのかについて詳細な説明をしてもらいたい。

<事務局> 次回の委員会において説明させて頂きたい。

- ・木材利用の推進として、木の遊具などがとても良いと思っている。里山に出かけて森に親しむことも良いが、木に親しむことは身近なところできるので、県で、もっとその良さを発信して行ってもらいたい。

<事務局> 幼少期から木に触れていくことは重要であり、ご意見を参考にさせて頂きたい。